

ENDURANCE RACING グリップヒーター HG/SP 取り付けについて JJMKN530G1/G2 適合車種：CB650R (2BL-RH03)

このたびは、本商品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前に、本書およびグリップヒーター本体の取扱説明書を必ずお読みいただき、
いつも手元に置いて、正しい取扱方法により永くご愛用くださるようお願い申し上げます。

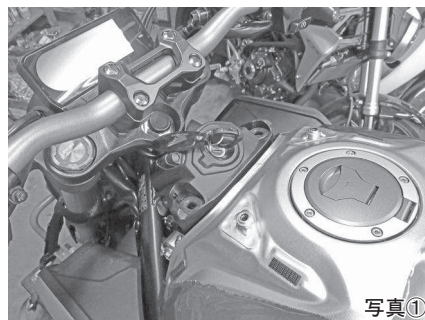
警告 ※パッケージ、取扱説明書の注意事項や内容を無視してご使用し、重大な
事故や損害が発生した場合でも弊社は賠償等の責は一切負いかねます。

●構成部品●

- ・電源ハーネス・・・1本
- ・専用スロットルパイプ・・・1個
- ・取扱説明書・・・1部

●接続する前に

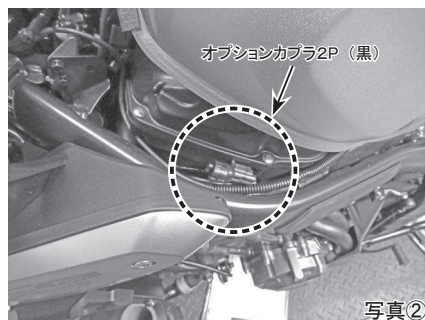
グリップヒーターを接続する前に車両のサービス
マニュアルを参考にしてタンクカバーを取り外して
(写真①)、フューエルタンクが少し持ち上がった
状態します(写真②)。



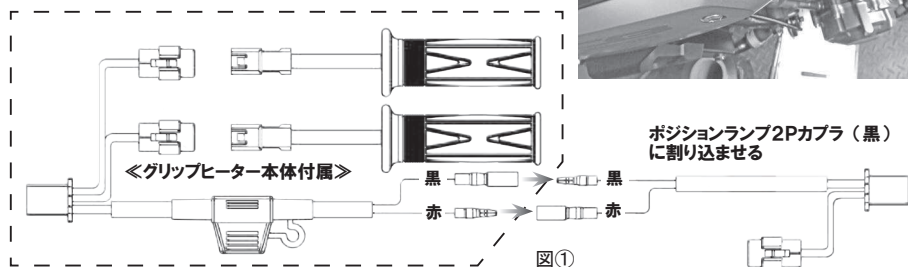
写真①

①配線の接続について

フューエルタンクをすこし持ち上げた状態にすると
オプションカブラー2P (黒) がありますので、付属の
電源ハーネスを割り込ませるように接続します。
その後、図①を参考にして左右グリップ、スイッチを
仮接続してグリップヒーターの動作確認をしておきます。
問題無く動作すれば、グリップとスイッチはいったん
外します。



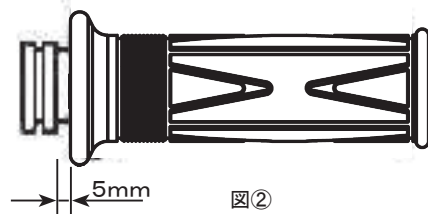
写真②



図①

ポジションランプ2Pカブラ (黒)
に割り込ませる

《右グリップ》



図②



注意

左右のグリップ共にグリップから出て
いる配線の位置を確認してから取り付け
してください。また、右側はスロット
ルを回した時に配線には絶対負荷が
かからないようにしてください。グリ
ップから配線が出ている部分は弱く、断
線して破損してしまう恐れがあります。

②純正グリップの取り外し

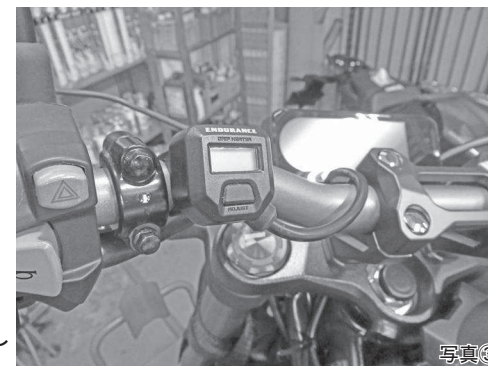
左右それぞれの純正グリップを取り外します。純正グリップが付いていたところに付着している
ボンドをパーツクリーナーなどできれいに取り除きます。

③スイッチ部の取り付け

<HGの場合>

付属のステーをマスターシリンダーホルダーに
固定します。(写真③)

→ハンドルの形状上、ミラーホルダーの横以外
での取り付けは難しくなっておりますので注意
ください。また、操作の邪魔にならない位置に
クランプしてください。その後、両面テープで
制御スイッチを固定します。



写真③

<SPの場合>

グリップヒーターを取り付ける前に、リングタイプ
スイッチをハンドルパイプの左側グリップ部に差し
込んで固定します。

→このとき、車両の操作の邪魔にならない位置に
固定してください。

④左右グリップの取り付け (参考例)

<SPの場合>

グリップヒーター本体の説明書を参考に、スペーサーを先に入れてからグリップを取り付けして
ください。

<以下、HG、SP共通>

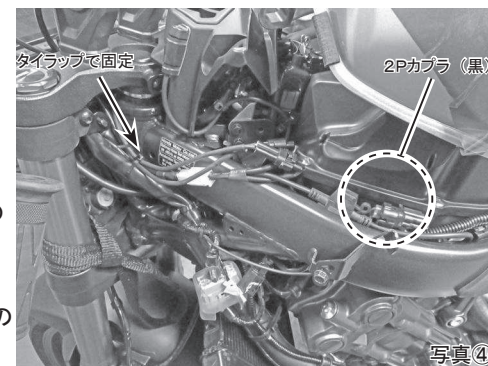
下記の図①を参考にして、本取り付けキットを使用してグリップヒーターを接続した後、スイッチを
ONにしてグリップが手で触って暖かいくらいまで仮組みで暖めておくと差し込みやすくなります。
また、右グリップはサービスマニュアルを参考に純正を取り外して付属のスロットルパイプに
交換して、図②のようにスロットルパイプとグリップ間が5MMくらいになるようにしてください。

⑤配線のまとめ (写真④、⑥)

左右グリップの取り付けが終わったら、電源
ハーネスとグリップヒーターのハーネスは写真④
を参考にして車両ハーネス (クラッチワイヤー)
に沿わせて、一部をタイラップで固定します。

グリップヒーターの配線を挟まないようにして
フューエルタンクを元の位置に戻して、写真⑥の
ように配線をまとめて固定します。

→ハンドルを左右に動かしてハーネスに力が
かかっていないか、ハンドル操作、レバーの
操作の邪魔になっていないか、スロットル操作の
邪魔になっていないかどうか確認します。



写真④

※ハーネスのカブラーやギボシ部は防水ではないので
配線テープなどで防水処理を施してください。

※オプションカブラーについていたキャップは本商品のハーネスに取り付け
てください。
(写真⑤)



写真⑤

●注意●

グリップヒーターを取り付ける際に、グリップヒーターのエンドをハンマーで叩いたり、グリップを強くねじったりしないでください。無理にグリップを押し込むと内部の熱線が断線してしまう恐れがありますので、絶対にしないでください。また、仮組みでグリップを暖める際に**1分以上**は暖めないでください。(特に右側)。内部が変形してしまい、熱線が出てきてしまう恐れがあります。

※右側グリップはスロットルを全開、全閉にしたときに、グリップから出ているケーブルに負荷がかからないように取り付けてください。

※必ず走行前にスロットルが正常に作動するかどうか手を離れた状態でスロットルが確実に全閉まで戻ることを確認、点検を行ってください。

⑤取り付け完了

再度、グリップヒーターの動作確認を行い、問題なく温まったら、カウルを元に戻して取り付け完了です。



・グリップヒーター（スイッチ）の使い方はグリップヒーターの取扱説明書を参照してください。

※デザイン及び仕様変更・価格等は予告なしに変更する場合がございます。

※弊社の取扱説明書等、十分ご確認の上ご使用ください。

※弊社商品以外の保証は一切お受けできませんのであらかじめご了承ください。

※本書やWEB上でのイラスト、写真等の記載内容が本商品と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

有限会社エンデュランス 〒350-0822 埼玉県川越市大字山田1726 TEL 049-222-7770 FAX 049-226-1625
www.endurance-parts.com/

2019.08.19